令和4年度

事業報告書及び附属明細書

社会福祉法人中東福祉会

目　　次

（事業報告書）

法人本部の事業概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1

重点項目・地域交流報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3

（附属明細書）

令和４年度新型コロナウイルス感染症発生状況報告・・・・・・　19

苦情・事故件数・公益通報対応状況・・・・・・・・・・・・・・・　20

事業所別年間利用者数及び稼働率・・・・・・・・・・・・・・・・　21

職員数の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　22

職員有資格者数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　23

職員研修参加数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　24

事　業　報　告　書

法人本部の事業報告（事業概要）

年月日	事業名	概要
4月1日	辞令交付式	※新型コロナウイルス感染防止の為中止
4月8日	五泉市長との懇談会	於.いずみの里
4月11日	〃	於.菅名の里
4月26日	令和4年第3回理事会	※新型コロナウイルス感染防止の為書面決議 議題　令和4年度資金収支補正予算について 令和4年第2回評議員会について
5月6日	令和4年第2回評議員会	※新型コロナウイルス感染防止の為書面決議 議題　令和4年度資金収支補正予算について
5月18日～19日	双研日栄監査法人による決算監査	双研日栄監査法人より監査報告書受理
5月24日～25日	法人監事決算監査	於.法人内施設
5月27日	幸老吉清水　新築工事入札	於.帛の郷憩いのホール
	管理者会議	於.帛の郷憩いのホール
6月1日	令和4年第4回理事会	於.五泉市福祉会館大会議室　出席者 理事7名 監事2名 議題　入札結果について（報告） 新型コロナウイルス感染症対応について（報告） 運営規程、経理規程、就業規則の一部改正について 給食業務委託に係る契約期間の延長について 内部管理体制の基本方針の制定について 個人情報保護に関する基本方針の制定について 個人情報保護規程、健康情報等の取扱規程 公益者通報者保護に関する規程の制定について 令和3年度事業報告について・令和3年度決算について 令和4年第3回評議員会の開催について
6月8日　他	正規職員採用試験 （令和5年4月1日付採用）	於.本部 正規職員外部8名、内部4名合格
6月16日	令和4年第3回評議員会	於.五泉市福祉会館大会議室　出席者 評議員8名 理事3名 監事1名 議題　入札結果について（報告） 新型コロナウイルス感染症対応について（報告） 給食業務委託に係る契約期間の延長について 令和3年度事業報告について・令和3年度決算について
7月4日～11日	理事長施設巡回（事業査定）	於.法人内施設
7月7日、14日	新人若手職員研修会	於.帛の郷憩いのホール　参加者28名
9月1日	管理者会議	於.帛の郷憩いのホール
9月20日	高卒程度採用試験	於.本部　正規職員2名合格
10月13日	令和3年第5回理事会	於.五泉市福祉会館大会議室　出席者 理事8名 監事1名 議題　新型コロナウイルス感染症対応について（報告） 理事長の職務執行状況について 後任監事候補者の評議員会への推薦並びに 評議員選任解任委員会委員の選任について 理事等職務権限規程、理事会運営規則、 評議員会運営規則、監事監査規程の制定について 育児休業・介護休業等に関する規程全部改正について 定款、就業規則、慶弔見舞金規程、職員給与規則一部改正について 幸老吉清水の運営規程の制定について 令和4年第4回評議員会の開催について

年月日	事業名	概要
10月21日	令和4年第4回評議員会	於.五泉市福祉会館大会議室　出席者 評議員8名 理事3名 監事1名 議題　新型コロナウイルス感染症対応について（報告） 後任監事の選任について 定款の一部改正について
12月1日	管理者会議	於.帛の郷憩いのホール
12月6日	令和4年第6回理事会	於.五泉市福祉会館大会議室　出席者 理事8名 監事2名 議題　新型コロナウイルス感染症対応について（報告） 公印規程、事務処理規程、苦情解決実施要綱、就業規則、経理規程、健康情報等の取扱規程の一部改正について 安全衛生管理規程の全部改正について 令和4年度補正予算について 令和4年第5回評議員会の開催について
12月9日	新年度事業経営方針検討会（高齢事業部）	於.帛の郷憩いのホール
12月16日	令和4年第5回評議員会	於.五泉市福祉会館大会議室　出席者 評議員8名 理事3名 監事2名 議題　新型コロナウイルス感染症対応について（報告） 令和4年度補正予算について
令和5年1月1日 1月4日 1月5日	理事長年頭挨拶 五泉市長挨拶 阿賀町長挨拶	※年頭挨拶を全職員へ一斉メール配信
1月20日	新年度事業経営方針検討会（障害事業部）	於.帛の郷憩いのホール
2月1日	新年度予算協議（障害・高齢事業部）	於.法人本部
2月16日	令和5年第1回理事会	於.五泉市福祉会館大会議室　出席者 理事8名 監事2名 議題　新型コロナウイルス感染症対応について（報告） デイサービス菅名の里運営規程の廃止について 施設長等の任免に係る人事異動について
	新年度事業・予算説明会（役員）	
2月19日 3月1日	幸老吉清水竣工式 幸老吉清水開所式	
3月2日	管理者会議	於.帛の郷憩いのホール
3月8日	令和5年第2回理事会	於.五泉市福祉会館大会議室　出席者 理事8名 監事2名 議題　理事長の職務執行状況について 運営規程の一部改正について 就業規則の一部改正について 令和4年度補正予算について 令和5年度事業方針、予算について 役員賠償保険の保険料負担について 施設長の任免に係る人事異動について 令和5年第1回評議員会の開催について
3月16日	令和5年第1回評議員会	於.五泉市福祉会館大会議室　出席者　評議員8名 理事3名 監事2名 議題　新型コロナウイルス感染症対応について（報告） 令和4年度補正予算について 令和5年度事業方針、予算について
3月31日	退職者辞令交付式	於.帛の郷憩いのホール

法人施設の事業報告（重点項目・地域交流・防災）

障　害　福　祉　事　業　部			
施設名	計　画	報　告	課題等
いずみの里	○重点項目		
	（1）生活介護・日中一時支援事業		
	・個別支援計画に沿った支援が提供できるよう、一人ひとりの状態に合わせた発達障害支援、「集中しやすい」「分かりやすい」「安心できる」環境づくり、リハビリテーション支援等を強化する。多種多様なサービスメニューが必要になってくるため、多職種共働の各チームでそのメニューを開発し、実践する。	・発達障害を持つ方に環境づくりとして、新たに個別のブースを4台増設した。その後、作業に落ち着いて取り組めるようになった。 ・利用者個々にチェック表を用意し、支援員を中心に生活リハビリが確実に行き届くようになった。 ・メニューついても追加で9つ開発・改善し、利用者に合わせ、きめ細かく提供できるようになった。	・重度の発達障害者支援、高齢となった利用者の支援について、更に質を高めていく。
	（2）施設入所支援・短期入所事業		
	・安全で安心な生活が提供できるように、支援の見直しや環境改善を図る。具体的には、転倒事故や誤嚥性肺炎等の予防、充実した余暇支援や行事の提供、行政や関係機関と連携し、地域の生活で生じる障害者やその家族の緊急事態などが支えられるよう、それぞれ専門性を高めていく。	・作業療法士を中心に個別の支援方法を見直し、環境改善を図ったことで転倒事故が前年度比45％減少した（転倒120件→66件、骨折3件→0件）。 ・栄養士を中心に食事介助の園内研修を開催した。また食形態・福祉用具・食事環境の見直しを行い誤嚥予防に努めた。 ・在宅利用者を受け入れる際、感染症予防対応を徹底した。	・個別支援計画や行動手順書を見直し、更に質を高めていく。
	（3）居宅介護等事業（フレンド）		
	・在宅利用者が地域で充実した生活が送れるよう居宅介護計画に基づいた生活支援及び介護サービスを提供する。また、福祉有償運送事業における安全運転教育を徹底し、事故防止に努める。	・新型コロナウイルス感染症対応を徹底しながら、サービスを提供した。 ・安全運転教育を行い交通事故防止に努めた。	・体制を見直し収支状況を改善する。
	（4）共同生活援助事業（陽だまり）		
	・利用者が、住み慣れた地域の中で自分らしく安心して暮らすことができるように、軽度知的障害者や在宅の高齢知的障害者の支援方法をあらためて学び、一人ひとりに会ったサービスが提供できるようになる。また、老朽化した住居については、引き続き五泉地域での需給バランスに応じながら、計画的な住み替え、建て替えを検討する。	・新型コロナウイルス感染症に利用者1人罹患したが、感染症対策を講じクラスターの発生を防いだ。 ・係長を中心に、軽度知的障害者支援に関する園内研修を開催した。また定期的に個別支援会議等を開催することで支援力を高めた。 ・利用ニーズ調査を経て、グループホームよしみ寮を廃寮し業務効率化を図った。（6棟→5棟）	・計画的な住替えの協議を継続する。

施設名	計　画	報　告	課題等
いずみの里	○地域交流・防災		
	・新型コロナウイルスを中心とした感染症の状況をみながら、いずみの里・陽だまりともに日頃から地域の行事等に積極的に参加し、地域の一員として安心して暮らしていける体制を築く。同様に納涼祭、地域合同防災訓練などにより地域住民との協働作業を通じて、災害時における相互協力体制を更に強いものとする。また、温暖化による豪雨の多発と土砂災害に備え、行政や近隣他施設との情報共有を継続的に行う。	・新型コロナウイルス感染症予防対応によって、大規模な地域行事等は開催できなかった。 ・『いずみ郷大規模自然災害対応マニュアル』に沿った園内研修を実施し、訓練も繰り返し行った。	・納涼大会の開催について、関係機関と協議しながら検討する。
自立就労センターいず	○重点項目		
	（1）自立訓練（生活訓練）事業		
	・日常生活の向上に向けた支援や社会適応訓練などを行う。知的障害の他に発達障害など利用者の障害特性が多岐にわたり、個別のニーズと課題が多種多様の中、利用者の生活能力の維持・向上のために、必要な個別支援計画に沿った支援プログラムの拡充と地域生活を営む上での自立に向けた支援に努める。	・『グループホームで生活を送ることができる』を目的とした新たな支援プログラムを作成したことで、利用者個々に合わせたサービスが提供できるようになった。	・特別支援学校・学級と情報を共有し、新規利用者の獲得を目指す。
	（2）就労継続支援A型事業		
	・法人との雇用関係に基づき、就労に必要な知識や能力の向上に向けた支援を行う。施設外就労や工房業務を提供する中でスキルアップを図り、悩みごとの相談を受けるなど精神面を支援することで「働きがい」が実感でき、就労が継続できるように支援する。併せて、利用者の意思や能力に応じた職場開拓や求職活動を行う。	・利用者個々の課題、相談や悩みごとについて、関係機関と連携し解決を図った。 ・就労先でのワクチン接種について支援を行った。	・就労が安定的に継続するよう支援する。
	（3）就労継続支援B型事業		
	・利用者一人ひとりに、知識及び能力の向上や維持に必要な支援を行い、工賃の向上を含め「働く喜び」が感じられるよう、より構造化を図っていく。また、施設外就労や移動販売業務、農耕及び出荷・販売業務などに、より多くの利用者が関われるようにし、お客様や地域の支援者との交流を通じて「働く喜び」が実感できるように対応する。請負作業や農福連携については、法人内就労系事業所と共同で受注できるよう連携を強化し対応する。	・受託作業に関する営業活動の強化、ラポルテとの連携、利用者個々に合わせた支援や環境について見直しを図ったことで、平均工賃が向上した。 ・支援力が向上したことで、利用者の能力も向上し、利用者2人が一般企業へ就職することができた。 ・法人内就労系事業所と連携を強化したことで共同受注等ができるようになった。 ・利用者の高齢化・重度化に伴い、稼働率が低下した。	・稼働率低下への対策で、法人の他事業所と連携・協議し改善を図る。

施設名	計　画	報　告	課題等
自立就労センターいずみ	（４）就労定着支援事業		
	・福祉サービス利用後、一般就労に伴い生じる日常生活や社会生活を営む上での課題に対応できるよう関係機関や家族等と連絡調整の上、相談、指導、助言等について必要な支援を行う。	・ニーズがなく利用する者がいなかった。	
	○地域交流・防災		
	・新型コロナウイルスを中心とした感染症の状況をみながら、地域合同の納涼大会、地元町内会との交流等を実施し、地域住民とのふれあいを通じて相互理解を深め、地域交流を図っていく。防災については、定期的に避難訓練を実施し、利用者及び職員の安全確保に努める。また、関係機関との連絡体制を整備し、情報共有と連携を密にする。	・新型コロナウイルス感染症予防対応によって、大規模な地域行事等は開催できなかった。 ・『いずみ郷大規模自然災害対応マニュアル』に沿った園内研修を実施し、訓練も繰り返し行った。	・大規模自然災害災害を想定した業務継続計画に沿った訓練を行う。
第二いずみの里	○重点項目		
	（１）生活介護・日中一時支援事業		
	・高齢化による重度化には、基礎的生活能力の向上と健康の保持、体力の増進を図るための必要な支援を行う。身体的機能の低下や認知機能の低下が危惧される利用者には、専門職員による評価に基づいたリハビリ支援に努める。障害の多様化には、個々の発達障害や強度行動障害等の特性及び成育歴を理解した支援に努める。コロナ禍にあっても楽しめる日課や行事の充実に努め、より良いサービスを提供する。	・作業療法士と連携してリハビリ内容の見直しを行い、身体機能の維持を図った。また、各班で体力や身体機能に応じたレクリエーションを実施し、楽しむ時間を設けた。 ・個別支援では、障害特性や成育歴、課題等を共有し、統一した支援を行った。 ・コロナ禍ではあったが、季節を味わえる行事を実施したり、食事をテイクアウトするなどして、楽しむ機会を設けることができた。	・感染症対応の継続 ・個別支援計画を活用した更なる支援の質の向上
	（２）施設入所支援・短期入所事業		
	・施設入所支援は、個別支援計画に沿って利用者個々のニーズに応じた個別性のある質の高い支援を目指す。そして、利用者が安全・安心に過ごすことができるよう、一人ひとりに寄り添いながら、生活の場としての施設環境づくりを進める。また高齢による身体機能低下や疾病の予防を目指し、口腔ケア等の取り組みを強化する。短期入所は、安定した事業運営とともに、在宅障害者の生活継続と家族負担軽減のため、関係機関と連携を図りながら緊急対応にも可能な限り受入れできるよう体制を更に整える。	・サービス管理責任者が中心となり支援内容の見直しを行い、個別性のある支援を行った。また、「心地よい生活環境」について検討し、寝具や衣類等を見直したり、居室、トイレ等の環境美化に努めた。 ・男性寮において、新型コロナウイルス感染症の集団感染が発生したが、拡大防止に努め女性寮へ拡がることはなかった。 ・在宅利用者については、感染防止のため、状況を確認しながら受け入れを行った。	・感染症対応の継続 ・食事提供方法等の見直しと事故防止の強化

施設名	計　画	報　告	課題等
第二いずみの里	○地域交流・防災		
	・新型コロナウイルス対策を行いながら、地域との交流を行う。納涼祭や地域合同防災訓練等を通じて、災害時の地域住民との相互協力体制を強化していく。また、近隣他施設との情報共有や災害想定訓練を継続的に行う。	・新型コロナウイルス感染症の影響により、納涼大会は中止した。地域合同防災訓練は、地域住民、消防署等の協力を得て実施した。また、毎月の避難訓練に加え、全職員が非常通報装置を操作できるように研修会を実施した。	・今後の地域交流についての協議
満日の里	○重点項目		
	（１）生活介護・日中一時支援事業		
	・相談支援専門員が作成したサービス等利用計画を基本に、個別支援計画を作成しこれに基づいて多職種が連携して統一した支援を提供する。高齢による重度化には身体機能低下防止のため、リハビリ支援の充実や感染症予防に努める。特に強度行動障害等の支援については引き続き環境を整え、専門性の高い支援を継続的に行う。	・個別支援計画の内容を基本に計画に沿ったサービスの提供に努めた。 ・新型コロナウイルス感染予防対策のため利用の一部制限をしたり活動場所を別棟で行ったりと施設入所者と交わらないように配慮した。	・利用者数の増加に対応したスペースの確保
	（２）施設入所支援・短期入所事業		
	・入所支援については個別支援計画に沿って、利用者個々のニーズに応じた質の高い支援を目指す。また、短期入所は在宅障害者の生活継続と家族負担軽減のため関係機関と連携を図り、緊急対応にも可能な限り受け入れられるよう体制を更に整える。	・入所支援についても個別支援計画の内容を基本に計画に沿ったサービスの提供に努めた。 ・新型コロナウイルス感染予防対策のため一時帰省や外泊を制限したにも拘らず、外部から新型コロナウイルスを持ち込んでしまい大規模なクラスターが発生してしまった。また、約1ヶ月間短期入所受け入れを制限することになった。	・感染時のための医療用消耗品の備蓄 ・感染対策の職員教育
	（３）相談支援事業（まんにち）		
	・利用者、家族と相談しながら将来を見据えたサービス等利用計画を作成し、行政や新潟市障がい者基幹相談支援センターをはじめとした各関係機関とのネットワークを活用した支援を行う。	・相談契約人数延べ３７３人の相談ケースに対してサービス等利用計画の作成とモニタリングを実施した。 ・システムを導入したことにより請求事務の効率化が図られた。	
	（４）自立生活援助事業（まんにち）		
	・単身で生活をする利用者に、定期的な巡回訪問や随時通報を受けての訪問を行い日常生活を営む上での問題を把握し、相談対応や助言、情報提供、関係機関との連絡調整等、自立した生活を営む為に必要な助言を行う。	・サービスの利用者がいなかったため実績がなかった。	

施設名	計　画	報　告	課題等
満日の里	（５）共同生活援助事業（なでしこ）		
	・地域生活を希望する利用者のニーズに応え、自分らしく安全快適な生活が出来るよう支援する。また、より支援が充実するよう計画的な建て替えや住み替えを検討する。	・利用者のニーズに応えるため個別支援計画に基づいた支援を提供することができた。 ・日中活動先から新型コロナウイルスを各寮に持ち込んでしまい感染の拡大につながってしまった。	・感染対策の職員教育
	○地域交流・防災		
	・新型コロナウイルス感染状況を鑑みながら地域との交流を推進する。同時に地域との合同防災訓練を実施し、水害を中心とした災害時の応援協力体制を更に強いものとする。	・行政と連携し、癒しの福祉ゾーンの各施設と地域住民とで洪水などの災害対策の勉強会を行った。	・地域住民との交流の機会を増やしたい
明日葉	○重点項目		
	（１）生活介護事業		
	・重度・重複障害、高齢化などに対応したサービスや、自立の促進、身体機能の維持向上を目的とした様々なサービスを提供し、障害のある方の社会参加と福祉の増進を支援する。地域活動支援センターⅡ型からの移行利用者に対しては、現行のサービス内容の低下がないよう十分配慮し、さらなるサービス向上を目指すとともに、安定的な運営を維持するためにも新規利用者獲得による稼働向上を図る。	・利用者が希望する入浴や機能訓練、余暇支援等のサービス提供を行うため日課と業務内容の見直しを行った結果、稼働率の向上がみられた。 ・新規利用者獲得のため積極的に相談事業所を訪問し実績を上げることができた。	・利用者数の増加に対応したスペースの確保
	（２）新潟市障がい者デイサポートセンター経過措置		
	・地域において雇用・就労が困難な在宅障害者に対し、機能訓練、社会適応訓練、入浴等のサービスを実施し、自立と生きがいを高める事業を実施する。現行利用者に対しては、現行サービスの低下がないよう十分配慮し、利用者にとって居心地の良い生きがいを感じられる場所及びサービスを提供する。	・経過措置の利用者に対しても生活介護の利用者と同様のサービスを提供し、利用者個別のニーズに沿った対応を行った。	・生活介護利用者との提供バランス
	○地域交流・防災		
	・新型コロナウイルス感染状況を踏まえた地域イベントへの参加やボランティア、実習生等の受け入れによる交流を行う。新潟市総合福祉会館での合同防災訓練に参加し併設されている事業所と連携を図り利用者の安全に配慮する。また、定期的に防災、コロナ対応におけるマニュアルを見直すと共に、ＢＣＰ（業務継続計画）の策定に取り組む。	・新型コロナウイルス感染のため外出行事や地域交流は自粛した。 ・新潟市総合福祉会館の合同防災訓練に参加した。	

施設名	計　画	報　告	課題等
きなせ家	○重点項目		
	（1）生活介護事業		
	・障害特性や年齢、意向等をふまえて作成した個別支援計画に基づき、日々のケアや達成感の持てる活動、社会参加を目的とした外出支援等を提供する。また、安全に配慮し、且つ利用者にとってわかりやすく居心地の良い環境作りを進める。	・感染症拡大が続いたため、外出支援に代えて季節行事や日々のレクレーションの内容を充実し提供した。 ・変化するご利用者の希望を汲み取り、個別の日課表を障害特性に合わせて更新し、気持ちよく活動できるよう支援した。 ・利用者玄関や物品置場を整理整頓、棚等の収納品は写真で示して分かりやすくし、手洗い場と女子トイレは改修等の環境改善を行った。	稼動率低下への対策として、地域ニーズに合わせた事業再編を検討する
	（2）就労継続支援B型事業		
	・個別支援計画に基づき、様々な生産活動や受託作業を利用者一人一人の意向を尊重しながら提供する。また、「集中しやすい」「分かりやすい」「安心できる」環境作りを更にすすめ、利用者が個々の能力を十分に発揮できるよう支援する。請負作業や農福連携は、法人内就労系事業所と共同で受注できるよう連携を強化し利用者の工賃向上や社会参加を促進する。また、残糸提供元のニット会社との連携を強化し、自主製品の新たな可能性を見出す。	・コロナ禍における年間198件の利用キャンセルや休業、生活介護への契約変更等により、稼働率が87％と振るわなかった。 ・作業室で発生した転倒や利用者同士のトラブルについて、環境面の課題を洗い出し、作業室内の整理整頓及びレイアウト変更を行うことで改善を図った。 ・感染症拡大により高齢者施設への施設外就労が休止となることが多かったが、法人内就労系事業所との連携強化により共同受注作業を増やすことで就労支援収入を維持することが出来た。	・稼動率低下への対策として、地域ニーズに合わせた事業再編を検討する
	（3）地域活動支援センター事業		
	・五泉市の委託によるⅡ型事業として、創作活動・生産活動・地域における交流活動など個々に適した活動の提供に努めるとともに、積極的に障害者の社会参加及び自立の促進を図る。	・感染症拡大が続きサンサンクラブ等の交流活動は実施出来なかったが、土曜日の余暇支援は季節に合わせた創作活動やレクリエーションを、平日の居場所としては作業活動を提供した。 ・自宅での入浴が困難な方等へ入浴サービスを継続し、在宅生活の支えた。	・サンサンクラブ（手をつなぐ育成会共催による休日余暇イベント）の再開
	○地域交流・防災		
	・新型コロナウイルスを中心とした感染症の状況をみながら、五泉南公園や五泉駅周辺などの地域の清掃活動を再開する。また、非常災害時に地域住民の協力が得られるよう、避難訓練等において地域住民との連携に努める。	・感染症拡大防止のため引続き地域の清掃活動は自粛した。 ・消防計画に沿い7月、11月に子育て支援センターと合同で避難訓練を実施した。感染症予防のため地域住民の参加には至らなかったが、訓練実施を書面でお伝えした。	・非常災害時における地域住民との連携

施設名	計　画	報　告	課題等
さくらの里	○重点項目		
	（1）生活介護事業		
	・障害特性や年齢、意向等をふまえて作成した個別支援計画に基づき、日々のケアや達成感の持てる活動を提供する。特に、若年利用者が様々な経験を積むための支援を、感染症対策を徹底しながら充実させる。	・コロナ禍において年間180件の利用キャンセルがあり、稼働率が77％まで落ち込んだ。その間、個別支援計画を基にした活動室内の区分けや、視覚化等の環境整備を進めた。 ・多彩な活動メニューを考案し、それらを日々提供することで利用者の達成感につなげた。	・稼動率低下への対策として、地域ニーズに合わせた事業再編を検討する
	（2）就労継続支援B型事業		
	・個別支援計画に基づき、様々な生産活動や受託作業を利用者一人一人の意向を尊重しながら提供する。また、利用者個々の能力を引き出すための環境作りや、情報提供の工夫等に取り組み、利用者の成功体験を積み上げていく。請負作業や農福連携は、法人内就労系事業所と共同で受注できるよう連携を強化し利用者の工賃向上や社会参加を促進する。また、きなせ家と連携して、自主製品の製作・販売を行う。	・農福連携では4軒の農家と連携し4～10月の間実施した。収入は令和3年度と比較すると2倍に増加した。 ・請負作業は法人内事業所と連携したことで冬期間も仕事が途切れず利用者の意欲向上と成功体験につながった。 ・安心して作業に取り組めるよう、利用者個々の能力や障害特性に合わせ、必要に応じて個室使用や間仕切りによる環境整備を行った。 ・コロナ禍で中止となっていた神社除草作業が再開となり、利用者の社会参加につながった。	・就労支援事業収入増に向けて更に取り組む
	（3）地域活動支援センター事業		
	・五泉市の委託によるⅢ型事業として、生産活動・創作活動・地域における交流活動など個々に適した活動の提供に努めるとともに、積極的に障害者の社会参加及び自立の促進を図る。	・利用者の希望や適性に応じた生産活動、創作活動、機能訓練等を提供するとともに、生活に関する相談への助言を行った。 ・真柄ふれ愛コンサートや昼食テイクアウト外出をとおして、感染症予防対策を講じながら社会適応訓練を行った。	・サンサンクラブ（手をつなぐ育成会共催による休日余暇イベント）の再開
	○地域交流・防災		
	・新型コロナウイルスを中心とした感染症対策を行いながら、「さくらアリーナ」「村松公園」をはじめとする地域資源の利用を継続し、地域の方と接点を深める。また、非常災害時に地域住民の協力が得られるよう、避難訓練等おいて地域住民との連携に努める。	・さくらアリーナ等の地域資源を感染状況をみながら積極的に活用した。また、町内会の清掃活動や総会に参加することで、地域住民と職員が顔のわかる関係づくりに努めた。 ・感染症予防のため地域住民と連携しての避難訓練には至らなかったが、消防計画に沿って避難訓練を実施した。	地域との積極的な連携

施設名	計　画	報　告	課題等
あさひの家	○重点項目		
	（１）相談支援事業		
	・五泉市からの委託相談、計画相談支援、地域相談支援と重層的な相談支援が可能な事業所の強みを活かし様々な相談に対応するとともに、個別の相談から地域に共通する課題をみつけ、五泉市障がい者総合支援協議会を通して「地域づくり」に反映させていく。また、引きこもり支援については、行政と連携して対応していく。	・五泉市からの委託相談については、年間延べ2,875件（前年度比284件減）であった。 ・五泉市障がい者総合支援協議会関係では、地域生活部会、就労部会、相談支援等連絡会、権利擁護連絡会に参加し、地域づくりに取り組んだ。 ・ひきこもり支援については、行政とともにひきこもり家族座談会を開催した。	・関係機関との連携、情報共有
	（２）地域活動支援センター事業		
	・憩いの場が安全・安心且つ楽しく過ごすことができる場となるよう環境整備及び活動の充実に努める。施設内で出来る手軽な運動を継続し健康増進を図る。また、精神障害に関する正しい理解が普及し、当事者が自身の経験を基に活躍でき、当事者及び家族が安心して暮らせる地域づくりのため、各種講座の開催や、五泉市等が主催する普及啓発事業への協力を継続する。	・新型コロナウィルス感染症の感染対策をしながら、各種行事等工夫して実施した。 ・憩いの場の利用については、年間延べ3,496人（前年度比196人増）であった。 ・「こころの健康講座」は参集とオンラインを併用して開催した。 ・「ボランティア育成研修会」については中止した。 ・精神障害者ピアサポート事業を受託し、ピアサポート活動と講座を開催した。	・感染症対応の継続 ・ケースに対する関係機関との連携、情報共有
	○地域交流・防災		
	・新型コロナウイルス感染症の感染状況を確認しながら、各種イベントやボランティアとの交流機会を再開していく。防災に関しては、消防計画の通り年2回の避難訓練を実施し、利用者及び職員の安全確保に努める。	・新型コロナウィルス感染症の感染対策として、「なないろふぇすた」は中止した。また、ボランティアの受け入れについても中止した。 ・防災に関しては、避難訓練を5月と11月に実施し、消火訓練を5月に実施した。	・感染症や災害への対応強化
虹工房	○重点項目		
	（１）就労移行支援事業		
	・就労に必要な技術や能力を見極め、就労移行支援計画書に沿って個々の状況に応じた支援を行い、ハローワーク等関係機関との連携のもと、利用者の特性や希望に合った就労へつなげる。また、五泉市内1ヶ所の就労移行支援事業所として、利用ニーズに最大限応えるよう努める。	・令和4年4月、1人の利用者が就職し契約者がゼロとなったが、7月に新規契約で定員3人中1人の契約である。 ・毎月、就労Bと合同で就労能力評価を中心とした勉強会を実施、就職面接のイメージ作りとして障害者合同面接会の見学に同行した。 ・作業終了後に振り返りを実施し不安解消に努めた。	関係機関との連携、情報共有

施設名	計　画	報　告	課題等
虹工房	（２）就労定着支援事業		
	・就労に伴う環境変化による生活面の課題の把握や、その解決に必要な支援及び連絡調整を行い、就労定着を図る。行政や相談支援事業所等と必要性を協議したうえでサービス提供を行う。	・利用契約者なく、サービス提供実績はなかった。	関係機関との連携、情報共有
	（３）就労継続支援B型事業		
	・個々の能力をのばし目標が達成できるよう、就労継続支援B型支援計画書に沿った施設内外の作業の提供及び就労に向けた訓練を行う。また、請負作業や農福連携については、法人内就労系事業所と共同で受注できるよう連携を強化し、工賃向上や社会参加を促進する。	・将来、企業就労を考えている利用者を対象に就労移行と合同で就労能力評価を中心とした勉強会を毎月実施し、就労スキルの向上に努めた。 ・就労継続支援事業所法人連絡会が発足し、情報の共有や工賃向上に努め、業務委託費の増額と新規の受託先が5カ所増えた。	・工賃向上 ・老年期に入った利用者の動向 ・新規利用者の確保と稼働率向上
	（４）地域活動支援センター事業		
	・生産活動、創作的活動、ボランティアとの交流活動、余暇活動等の日中活動を提供しながら、若年者から高齢者まで幅広い利用者の個々のニーズに応じた支援を実施する。また、ひきこもり支援については、行政と連携して対応していく。	・新型コロナウィルス感染症対策で受け入れ人数や行事等を縮小して対応した。 ・若年層と老年層の二極化で、生産活動中心グループと脳トレや創作活動を取り入れたリフレッシュタイムグループにそれぞれ対応した。 ・毎月1回茶話会を開催し、気分転換を図った。	・生産活動登録者の高齢化（登録者数の約1/3） ・関係機関との連携強化、情報共有
	○地域交流・防災		
	・新型コロナウイルス感染症の感染状況を確認しながら、各種イベントやボランティアとの交流機会を再開していく。防災に関しては、消防計画の通り年2回の避難訓練を実施し、利用者及び職員の安全確保に努める。	・新型コロナウィルス感染症対策で「なないろフェスタ」とボランティアグループ「虹の会との交流会」は中止した。 ・防災関連では、防災マニュアルの更新と避難訓練（地震・火災）と消火訓練を実施した。また、地域住民に呼びかけ訓練に参加いただいた。	・BCPの作成と訓練の実施
たんぽぽ	○重点項目		
	（１）生活介護事業		
	・食事や入浴といった日常生活能力の維持と健康の保持に必要な支援の一つとして、町内の福祉団体と合同で創作活動に関する研修を開催。オリジナル商品の開発に向けた取組みを強化する。また、施設内および施設外行事を通して共同生活や社会参加に必要なきまりの習慣化に努める。	新型コロナウイルス感染予防のため、行事や買い物体験などの外出を制限。健康を保持するためリハビリを兼ねて、使用済みの部材や製品を再利用した「看板」や「米袋エコバック」制作。町文化祭や障害者週間パネル展で耳目を集めた。	健康を保持する取り組み

施設名	計　画	報　告	課題等
たんぽぽ	（２）就労移行支援事業		
	・求められる知識や技能の習得及び向上に必要な訓練を行うと同時に求職活動を支援する。また法人内施設と連携し、企業訪問や見学を行い就労意欲の向上に努める。	昨年に続き利用契約者がなく、サービスの提供がなかった。自分らしく、楽しく暮らすことをめざし、「ひとりだち」を参考資料にマナー講座を開催し、就労意欲の向上に努めた結果、3年ぶりに1人の就労が実現した。	基本的プログラムの作成
	（３）就労継続支援B型事業		
	・利用者の潜在能力を引き出すため多種多様な生産活動を提供し、地域において自立した日常生活や社会生活ができるよう努める。また、請負作業や農福連携については、法人内就労系事業所と共同で受注できるよう連携を強化し、対応する。	コロナ禍で多くのバザーが中止となったほか、公共施設の老朽化により清掃業務が年の途中で契約変更となったが、新たに農福連携事業を受注し、工賃の原資となる就労支援事業収入を確保した。	移動手段の支援
	（４）相談支援事業		
	・利用者そして家族のニーズを的確に把握し、必要な社会資源を活用し、総合的なサービスの提供に努める。また、個別の相談から地域に共通する課題を見つけ、阿賀町障害者自立支援協議会を通して、個人の尊厳にふさわしい日常生活や社会生活を営むことができる地域づくりに反映させる。	新規利用者9人を含め、全体で91人の計画相談を行った。利用者又は家族のニーズを的確に把握し、地域資源を活用したサービスが提供できるよう、関係機関と連携し支援を行った。また自立支援協議会や成年後見センターまたピアサポート活動の委員として、障害福祉の向上に資する意見を具申した。	
	（５）地域活動支援センター事業		
	・阿賀町の委託事業として地域社会とのつながりが難しく、孤立してしまう人の日中の居場所として生産活動などを通して社会参加や自立の促進に努める。	新型コロナウイルス感染対策による行動自粛制限で2事業が中止となった。限られたスペースで、参加者は自ら考え行動するなど普段と違う空間、雰囲気を楽しみながら英気を養っていた。	
	○地域交流・防災		
	・障害者基本法がめざす「地域社会における共生」を推進するため、新型コロナウイルスを中心とする感染症対策に努めながら、地域の皆さまにふれあいの場を提供し、障害者に対する理解を深めていただくとともに心のバリアフリーを進める。地域の一員として、事業所及びその周囲に設置された防災設備が機能するよう日々除草や除排雪を行い環境の整備に努める。	・体力作りで利用させていただいている県営津川漕艇場に他の福祉事業所と合同で200本のヒマワリを育てた。 ・防災面では事業所及び隣接する公営住宅内にある消防水利が有事の際に機能するよう除草及び除排雪に努めた。	

高　齢　福　祉　事　業　部			
施設名	計　画	報　告	課題等
菅名の里	○重点項目		
	（１）特別養護老人ホーム事業		
	・自立支援、重度化防止から終末期ケアに至るまで本人及びご家族の意思や希望を尊重したケアを継続する。介護サービスにおいては、新型コロナウイルス感染対策を最優先としながら、4グループケアの充実と個別ケアの質を高める。施設の閉塞感から生まれる接遇の乱れは職場全体で改善に取り組む。	・新型コロナウイルス感染対策を最優先課題としながら、8月末からクラスター発生し1ヶ月間対応に追われた。感染対応の甘さと感染症の怖さ、難しさを痛感した。マニュアル等を修正しその後は再発防止に繋げた。 ・グループケアや接遇向上の取り組みについては改善傾向にあったが、クラスター対応が影響して評価するまでは至らなかった。次年度以降も継続したい。	・感染対策継続 ・LIFEデータのフィードバックへの取り組み
	（２）短期入所、障害短期入所事業		
	・多様化、複雑化する介護ニーズに対応できるよう、柔軟な受け入れに努める。感染対策を最優先としんがらも個別支援計画に基づいた個別ケアを実践する。またレスパイトケアを推進し在宅介護者も支援する。	・新型コロナウイルス対策及びクラスターの影響により利用者のニーズには十分に対応できなかった。今後の感染症法の分類変更に伴い徐々に受け入れの考え方も変更していきたい。	・旧デイスペースを活用した感染症対策の徹底 ・柔軟な介護ニーズへの対応
	（３）通所介護事業		
	・予防から中重度、認知症ケアに至るまで利用者それぞれのニーズに幅広く対応する。特に軽度利用者に対しては利用促進の観点からICTを活用した機能訓練（歩行支援）、余暇活動プログラムの充実を図る。介護ニーズの変化により事業廃止の予定。新規サービス（小規模多機能型居宅介護等）に円滑に移行できるに事業所間の連携に努める。	・併設特養のクラスター発生の影響で段階的ではなかったが事業閉鎖に伴い、法人各事業所の協力を得て利用者の事業所移行と小規模多機能型居宅介護への移行ができた。 ・下半期は少人数での運営であったが機能訓練などサービスの質を低下させることなく次に引き継ぐことができた。	・R5.2月事業閉鎖
	（４）在宅介護支援センター事業		
	・地域包括支援センターのブランチ機能として、行政・民生委員、居宅介護支援事業所等と連携し、地域の総合窓口としての役割を果たす。また地域住民の自助・共助のための支援の仕組み作り（地域作り推進事業）と新設される総合的な介護予防事業を推進する。	・お茶の間サロンや地域安心見守り訓練等により、認知症に関する正しい知識の普及啓発に努めた。 ・地域座談会や協議体に参加し、地域づくりに取り組んだ。 ・関係機関と連携し、地域の高齢者の実態把握を行い、心身機能低下予防に努めた。 ・新設された総合的な介護予防事業については、手探りではあったが五泉市及び法人内在介等と協力して運営でき、参加者の身体状況が概ね改善するなど一定の効果が得られた。	・効果が見える介護予防事業について

施設名	計　画	報　告	課題等
菅名の里	（５）居宅介護支援事業		
	・専門的な知識とアセスメント、プランニング能力の向上に努め、利用者本位の自立支援型ケアマネジメントを推進する。介護サービス事業所との連携による、きめ細やかなサービス提供を行い、地域、関係機関、専門職等とのネットワークによる地域ケアを推進するとともに、地域包括ケアシステム構築の中心的役割を果たす。	・コロナ禍にあり、感染予防を行いながら利用者・家族に対応した。処遇困難ケースについては関係機関と連携を図りながら支援を行った。 ・菅名の里デイの廃止及び新規小規模多機能型居宅介護の開設に関連して、利用者のニーズを確認しスムーズな事業所の移行ができた。	・小規模多機能居宅介護事業への支援
	○地域交流・防災		
	・新型コロナウイルス感染対策の影響で地域行事も制約されるが、新しい連携方法を模索する。防災体制においては土砂災害に備え避難訓練を強化するとともに有効な防災設備の設置を検討する。	・コロナ禍にあり積極的な地域行事は行えなかった。オンラインでの川東小学校との交流事業（笹団子つくり）は継続できたので、次年度の活動につなげたい。	
まおろしの郷	○重点項目		
	（１）特別養護老人ホーム事業		
	・自立支援、重度化防止から終末期ケアに至るまで本人及びご家族の意思や希望を尊重したケアを継続する。居室担当の意識を高め個別ケアの向上が図れる体制と円滑に情報共有ができるチームを構築する。また、介護事故防止、感染対策、救急対応等が適切に行えるよう介護力の向上を目指す。	・基本的な感染対策の徹底、訓練の継続により、施設内での新型コロナウイルス感染を予防することができた。 ・感染対策を徹底しながらも、職種間の円滑な情報共有のもと、入居者個々の意向に沿った園内外行事の実施、個別ケアの充実を図った。	・感染症対策訓練継続による感染対応実践力の向上
	○地域交流・防災		
	・新型コロナウイルス感染対策の影響で地域行事も制約されるが、新しい連携方法を模索する。防災体制においては定期的にマニュアル等の見直しを行い、地域住民と連携、協力を図りながら災害に備える。	・地域合同防災訓練は新型コロナウイルス感染状況から中止した。 ・新型コロナウイルスの感染状況を確認しながら可能な範囲で積極的に外出を実施するなど、地域へ出向く機会を確保した。	・地域住民と連携した防災訓練等の実施
幸老吉清水	○重点項目		
	（１）小規模多機能型居宅介護事業		
	・利用者の意向を踏まえ「通い」「訪問」「泊り」の各サービスを有効に組み合わせ、利用者の在宅生活の継続につながるマネジメント（サービス調整）を行います。柔軟かつ、きめの細やかなサービス提供により利用者の生活を支援します。開設元年に当たる今年度は、新規利用者の獲得と現行サービスからの円滑な移行に努めるとともに利用者のニーズの把握、サービスの提供体制の基盤を築きます。	・定員満員で3月1日より事業を開始し、利用者のニーズに合わせたサービス提供に努めた。 ・菅名の里デイサービスの利用者を中心に円滑に移行を完了した。 ・法人として初めての事業であるため、開設前に職員研修を実施し、スムーズなサービス開始に向けた基盤を整備した。	・年間を通した安定的な利用者確保

施設名	計　画	報　告	課題等
幸老吉清水	○地域交流・防災		
	・積極的な情報発信により早期に地域との信頼関係を構築する。新型コロナウイルスの感染状況を鑑みながら地域行事への参加、地域交流事業を推進する。防災に関しては、早期に各種業務継続計画（BCP)を作成し、地域住民だけでなく、近隣のいずみの里、第二いずみの里と防災連携を図りながら災害に備える。	・開設に伴い、町内会へ内覧会の案内を行うなど、情報発信を行い、地域住民も内覧会にご参加いただいた。今後、各種地域行事への参加を予定している。 ・新型コロナウイルスに関する業務継続計画（BCP）を作成し運用している。	・災害に関する業務継続計画（BCP）の作成と防災訓練の実施
五泉中央デイサービスセンター・五泉中央サポートセンター	○重点項目		
	（1）通所介護事業		
	・通所介護計画に基づき、利用者個々の状況に応じた生活リハビリ、身体的リハビリ及び認知症予防を意識した脳活性プログラム等をバランスよく働きかけ、機能維持向上・在宅生活の継続を支援する。また、今後増え続ける団塊世代の受入れに備え、設備・事業内容を抜本的に見直し、時代に合ったサービス提供を目指す。さらには、菅名の里通所介護事業の廃止に伴い、利用者の円滑な移行について準備を進め、受け皿としての機能を果たす。	・多職種で協働し、短時間利用など利用者個々の様々なニーズにも対応し、機能維持向上・在宅生活の継続を支援した。 ・市内居宅介護支援事業所へ利用者ニーズに関するアンケートを実施し、結果を基に利用者が少人数で過ごせる「憩いの広場」を創設した。 ・菅名の里通所介護事業の廃止に伴い、事業所間で連携し利用者の円滑な移行に努めた。 ・新型コロナウイルスの流行に伴い、7月には2日間、1月から2月にかけては5日間の休業があり、大きく稼働を落とし経営的にも非常に厳しい1年となった。	・多様化するニーズへの対応 ・うずらはし通所介護事業縮小に伴う、スムーズな利用者移行 ・土日の稼働率向上
	（2）在宅介護支援センター事業		
	・地域包括支援センターのブランチ機能として、行政・民生委員、居宅介護支援事業所等と連携し、地域の総合窓口としての役割を果たす。また地域住民の自助・共助のための支援の仕組み作り（地域作り推進事業）と新設される総合的な介護予防事業を推進する。	・お茶の間サロンや地域安心見守り訓練等により、認知症に関する正しい知識の普及啓発に努めた。 ・地域座談会や協議体に参加し、地域づくりに取り組んだ。 ・関係機関と連携し、地域の高齢者の実態把握を行い、心身機能低下予防に努めた。 ・新設された総合的な介護予防事業については、手探りではあったが五泉市及び法人内在介等と協力して運営でき、参加者の身体状況が概ね改善するなど一定の効果が得られた。	・効果が見える介護予防事業について

施設名	計　画	報　告	課題等
五泉中央デイサービスセンター・五泉中央サポートセンター	（３）居宅介護支援事業		
	・専門的な知識とアセスメント、プランニング能力の向上に努め、利用者本位の自立支援型ケアマネジメントを推進する。地域、関係機関、専門職等とのネットワークによる地域ケアを推進するとともに、地域包括ケアシステム構築の中心的役割を果たす。	・コロナ禍の中、感染予防を行いながら利用者・家族の様々なニーズ・相談に対応した。 ・処遇困難ケースについては、関係機関と連携を図りながら支援を行うことができた。 ・外部研修には主にオンライン等を中心に積極的に参加した。また、事業所内においては事例検討会や伝達会議等で支援方法やプランニング等を学び、事業所全体のスキルアップを図った。	・うずらはし通所介護一般型利用者の移行協力 ・小規模多機能型居宅介護事業への支援
	（４）相談支援事業		
	・五泉市からの委託相談支援・計画相談支援事業・地域相談支援による重層的な相談支援が可能な事業所の強みを活かし、行政及び五泉市基幹型相談支援センター他各関係機関との連携強化を図りながら、様々な相談に対応する。また、地域生活支援拠点事業所として利用者の緊急事態等に対応するため、常時の連絡・支援体制をより強化する。	・コロナ禍の中、感染予防を行いながら可能な限り家庭や他事業所へ訪問し、各関係機関と連携しながら様々なニーズ・相談に対応した。 ・事業所内での事例検討の他、法定研修・オンライン研修に積極的に参加し、職員全体のスキルアップを図った。 ・地域生活支援拠点事業所として常時の連絡・支援体制を整えているが、夜間等緊急で対応が必要なケースはなかった。	・職員配置の見直し
	（５）自立生活援助事業		
	・単身で生活する利用者に、定期的な巡回訪問や随時通報を受けての訪問を行い、相談や助言、関係機関との連絡調整等の自立した生活を営むために必要な援助を行う。	・対象となる利用者がいなかったため、実績はなかった。	
	○地域交流・防災		
	・新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑みながら、可能な方法で可能な限り地域交流を推進していく。防災に関しては、業務継続計画に基づいた研修・訓練を計画的に行い、地域住民との連携・協力を図りながら災害に備える。	・新型コロナウイルス流行の影響で、外部からのボランティアや慰問等の受け入れはできなかったが、近隣保育所と作品を交換し合う形で交流を図った。 ・地域住民等にも参加していただき、水害想定の地域合同防災訓練を実施した。 ・自然災害発生時における業務継続計画（ＢＣＰ）は作成途中であり、完成には至らなかった。	・自然災害発生時における業務継続計画（ＢＣＰ）の策定

施設名	計　画	報　告	課題等
うずらはし	○重点項目		
	（1）特別養護老人ホーム事業		
	・ユニットケアの特性を活かし、ゆったりとした日常生活の流れと家庭的な雰囲気のなか、本人と家族の想いを最大限に尊重する「想いを汲み・代弁し・実践するケア」に取り組み、更なるケアの質の向上と看取り介護の深化を図る。入居者個々の情報・能力に関する客観的評価を行う科学的介護に取り組み、安全で安心した生活及び介護事故ゼロを目指す。また「人を育て、自分も成長する」育成と成長の仕組みを築き、人材育成の体制を強化し組織の成長に取り組む。	・CHAIN（新潟医療関連感染制御ｺﾝｿｰｼｱﾑ）による、新型コロナウイルス集団感染の検証及び研修を開催した。また感染予防対応を継続するとともに、実践的かつ継続的な訓練を行い再発防止に努めた。 ・ケアの質の向上に取り組んだが、気づきと情報の共有、職種間の連携に課題が残った。	・感染症対応の継続
	（2）通所介護・認知症対応型通所介護事業		
	・身体機能の維持向上、認知症予防、口腔栄養の維持の3つの柱を基本に、利用者のニーズを科学的に評価し、PDCAサイクルに基づき効果の見えるサービスを展開する。「ムリ・ムダ・ムラ」を洗い出し省力化を図ることで、過度な負担を強いられることがない働きやすい職場環境作りをする。また職種毎の専門性を発揮したケアを実践するとともにチームケアの強化を図る。地域ニーズに照らし合わせ、事業内容及び事業規模を見極める1年とする。	・9月に利用者19人/職員3人のクラスターが発生し、5日間の休業を要した。改めて感染対策の強化を図り、再発防止に努めた。 ・コロナ禍による稼働低迷、軽度者の割合増加による収入減少、他事業所とのサービスの差別化、収支の健全化を目指して、認知症対応型への一本化への結論となる。	・通所事業廃止 ・他サービスへの円滑な移行 ・デイサービスのリニューアル
	（3）在宅介護支援センター事業		
	・地域包括支援センターのブランチ機能として、行政・民生委員、居宅介護支援事業所等と連携し、地域の総合窓口としての役割を果たす。また地域住民の自助・共助のための支援の仕組み作り（地域作り推進事業）と新設される総合的な介護予防事業を推進する。	・お茶の間サロンや地域安心見守り訓練等により、認知症に関する正しい知識の普及啓発に努めた。 ・地域座談会や協議体に参加し、地域づくりに取り組んだ。 ・関係機関と連携し、地域の高齢者の実態把握を行い、心身機能低下予防に努めた。 ・新設された総合的な介護予防事業については、手探りではあったが五泉市及び法人内在介等と協力して運営でき、参加者の身体状況が概ね改善するなど一定の効果が得られた。	・効果が見える介護予防事業について

施設名	計　画	報　告	課題等
うずらはし	（4）居宅介護支援事業		
	・専門的な知識とアセスメント、プランニング能力の向上に努め、利用者本位の自立支援型ケアマネジメントの質の向上を図る。また、コロナ禍においても必要とするサービスが適切に受けられるようサービス事業所との連携と調整を図る。	・コロナ禍により、感染予防を行いながら利用者及び家族へ対応した。処遇困難ケースでは関連機関と連携を図りながら支援を行った。 ・併設する居宅サービス事業所と連携、情報共有することで、迅速かつ適切に課題解決に結びつけることができた。	・通所介護廃止に伴う円滑な移行への連携・協力
	○地域交流・防災		
	・運営推進委員を通じた積極的な情報交換と連携、協力体制の確認を行い、地域との結びつきを強化する。業務継続計画に基づいた研修と訓練を継続し、検証を行うことで、より実効性の高い計画に見直し、早期収束と安定したサービスが提供できる体制を構築する。	・運営推進会議は全て書面会議となった。意見書を活用することで、積極的な情報交換を図ることができた。 ・感染症及び防災に係る業務継続計画に基づいた訓練・研修を継続して実施した。	・各種計画の見直し
帛の郷	○重点項目		
	（1）特別養護老人ホーム事業		
	・ユニットケアを中心とした生活単位を基本として、ゆったりとした日常生活の中で入居者に寄り添った家庭的で温かみのある介護サービスを提供する。一人ひとりの想いを反映させた個別ケアを充実させるとともに、利用者及び職員がコミュニケーションをとりながら、笑顔がみえる空間づくりに努める。看取り介護について、入居者の今まで歩んできた人生を大切にし、職員がチームで利用者、家族に寄り添い、共に悩み考え、「旅立ち」の時までサポートしていく。	・コロナ禍においても感染対策に留意しながら、入居者の希望を叶える機会を持ち、個別ケアの充実に努めた。 ・令和4年度は看取り対応の入居者が9人と多かった。看取りの際には、職員が入居者、家族に寄り添い、穏やかに過ごせるようにサポートを行った。 ・職員の離職防止に努め、また施設内での新型コロナウイルス感染を予防することができた。	・個別ケアの充実 ・感染対策の訓練、継続により感染対応力の向上。 ・空床日数の縮減
	○地域交流・防災		
	・新型コロナウイルス感染予防を徹底しつつ、感染状況をふまえながら近隣小学校等との交流や地域行事へ積極的に参加、協力する。帛の郷運営推進委員との連携を図り、コロナ禍においても地域に貢献できることがないか常に模索し、地域との結びつきを大切にしていく。また、日頃の避難訓練や消火訓練の継続、そして、地域消防団や地域住民の協力を得ながらの総合的な防災体制の構築を目指す。	・コロナ禍において地域行事への参加はできなかったが、近隣小学校との交流においては花プランターのお返しに手作りのしおりを贈ったり、児童の習字作品を園内に掲示したり、手形で児童との共同作品を作るなどして交流を図った。 ・地域住民と合同での避難訓練はできなかったが、定期的な避難訓練、消火訓練を重ね防災に努めた。	・自然災害発生における業務継続計画（BCP）の策定

附　属　明　細　書

令和4年度新型コロナウイルス感染症発生状況報告

月日	職員感染者数	職員濃厚接触者数	備　　考
4月	5	17	菅名の里在宅サービス（4/13～）2日間休業
5月	1	10	
6月	0	6	
7月	12	29	中央デイ（7/20～）2日間休業 菅名の里デイ（7/26～）3日間休業
8月	20	53	菅名の里クラスター（8/31～9/30）31日間休業
9月	38	17	きなせ家（9/2～）3日間休業 満日の里（9/2、5）2日間通所休業 うずらはしデイクラスター（9/9～）5日間休業
10月	5	11	たんぽぽ（10/3～）7日間休業
11月	10	47	
12月	53	60	満日の里クラスター（12/17～）31日終息 第二いずみの里男子寮クラスター（12/25～） 1/16終息
1月	14	18	中央デイ（1/28～）5日間休業
2月	3	2	
3月	0	3	
合計	**161**	**273**	

○苦情・事故件数　【県・市町村へ報告した事案】

施設名		苦情合計	事故の種別				事故合計
			※負傷等（骨折、打撲、裂傷等）	誤飲・誤薬	無断外出・徘徊等	その他	
障害福祉事業部	いずみの里	0（0）	5（9）	4（0）	2（0）	1（0）	12（9）
	陽だまり（グループホーム）	0（0）	2（1）	1（4）	0（0）	0（0）	3（5）
	自立就労センターいずみ	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）
	第二いずみの里	0（0）	1（4）	8（8）	0（0）	1（0）	10（12）
	満日の里	0（0）	2（3）	3（6）	0（0）	0（0）	5（9）
	なでしこ（グループホーム）	0（0）	2（0）	2（3）	0（0）	0（0）	4（3）
	明日葉	0（0）	0（0）	0（1）	1（0）	0（0）	1（1）
	きなせ家	0（0）	0（1）	0（0）	0（0）	0（0）	0（1）
	さくらの里	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）
	あさひの家	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）
	虹工房	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）
	たんぽぽ	0（0）	0（1）	0（0）	0（0）	0（0）	0（1）
高齢福祉事業部	菅名の里	0（0）	7（10）	8（3）	0（0）	0（0）	15（13）
	まおろしの郷	0（0）	3（3）	1（0）	0（0）	0（0）	4（3）
	幸老吉清水	0			0	0	0
	五泉中央デイ・サポートセンター	0（0）	1（1）	2（0）	0（0）	0（0）	3（1）
	うずらはし	0（0）	7（6）	1（1）	0（0）	4（0）	12（7）
	帛の郷	0（0）	7（5）	1（5）	0（0）	0（0）	8（10）
合計		0（0）	37（44）	31（31）	3（0）	6（0）	77（75）

※負傷等の報告対象事故…（障害）治療に相当期間（１週間以上）を要する場合
（高齢）医療機関への受診を要した場合

※括弧内は令和3年度の合計数

○公益通報者保護に関する規程に基づく公益通報対応状況…０件

事業所別年間利用者数・稼働率

	施設名	事業名	令和4年度3月末現在定員	年間営業日	令和3年度 利用者数 ①	令和3年度 稼働率 ②	令和4年度 利用者数 ③	令和4年度 稼働率 ④	前年比（利用者数）③－①	前年比（稼働率）④÷②
障害福祉事業部	いずみの里	施設入所支援	40	365	14,358	98	14,467	99	109	100.9%
		生活介護	40	365	11,717	80	11,522	79	-195	98.8%
		短期入所（併設）	5	365	1,824	100	1,330	73	-494	73.2%
	陽だまり	共同生活援助	40	365	13,425	91	12,643	87	-782	95.6%
	自立就労センターいずみ	自立訓練(生活訓練)	10	241	880	37	1,058	44	178	118.9%
		就労継続支援A型	6	241	1,116	77	1,043	72	-73	93.5%
		就労継続支援B型	34	241	9,013	110	8,032	98	-981	89.1%
	第二いずみの里	施設入所支援	50	365	17,127	94	17,920	98	793	104.5%
		生活介護	55	365	13,281	66	13,549	68	268	102.7%
		短期入所（併設）	5	365	1,140	63	548	30	-592	48.0%
	満日の里	施設入所支援	50	365	17,726	97	17,517	96	-209	98.9%
		生活介護	60	365	15,565	71	15,322	70	-243	98.6%
		短期入所（併設）	10	365	1,403	38	1,031	28	-372	73.4%
	なでしこ	共同生活援助	20	365	6,460	88	7,020	96	560	109.1%
	明日葉	生活介護	20	297	3,477	59	4,121	69	644	116.8%
	きなせ家	生活介護	15	306	4,793	105	4,501	98	-292	93.3%
		就労継続支援B型	22	241	5,075	97	4,638	87	-437	89.7%
	さくらの里	生活介護	10	256	2,265	88	1,984	77	-281	87.5%
		就労継続支援B型	20	241	5,502	114	5,352	111	-150	97.4%
	虹工房	就労移行支援	3	241	202	26	178	25	-24	94.7%
		就労継続支援B型	17	241	3,663	86	3,321	81	-342	94.3%
	たんぽぽ	生活介護	6	241	1,365	107	1,318	91	-47	85.2%
		就労移行支援	6	241	0	0	0	0	0	0.0%
		就労継続支援B型	20	241	4,382	93	4,155	86	-227	92.7%
高齢福祉事業部	菅名の里	介護老人福祉施設	80	365	28,040	96	27,407	94	-633	97.6%
		短期入所生活介護	20	365	6,969	95	6,316	87	-653	91.2%
		通所介護（令和5年2月閉鎖）	34	334	10,270	83	5,895	57	-4,375	68.6%
	まおろしの郷 ※令和3年10月～広域型特養に転換	介護老人福祉施設（広域）	42	182	7,470	98	14,866	96	7,396	98.0%
		介護老人福祉施設(地域)	28	183	5,028	98				
		短期入所生活介護（併設）	14	183	2,202	86				
	幸老吉清水	小規模多機能型居宅介護	29	31			897	99		
	五泉中央デイサービスセンター	通所介護	60	365	17,678	81	17,464	80	-214	98.8%
	うずらはし	介護老人福祉施設	60	365	21,536	98	21,369	98	-167	99.2%
		通所介護	30	365	8,957	82	8,255	75	-702	92.2%
		認知症型通所介護	12	365	3,103	71	3,097	71	-6	99.8%
	帛の郷	介護老人福祉施設	29	365	10,232	97	10,131	96	-101	98.5%

職員数の推移

（4月1日現在在籍数）　※嘱託医除く・産休育休等含む

所属		区分	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
法人本部		正規	4	4	5	4	4
		嘱託・準	2	2	1	2	2
		パート・日給				1	1
法人本部計			6	6	6	7	7
障害福祉事業部	いずみの里（ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ含む）	正規	35	36	35	34	32
		嘱託・準	11	9	11	11	12
		パート・日給	14	20	21	21	21
	いずみの里計		60	65	67	66	65
	自立就労センターいずみ	正規	4	6	6	6	6
		嘱託・準	14	11	10	9	9
		パート・日給	8	6	7	7	7
	いずみ計		26	23	23	22	22
	第二いずみの里	正規	29	29	29	32	33
		嘱託・準	5	5	5	4	2
		パート・日給	6	7	7	6	6
	第二いずみの里計		40	41	41	42	41
	満日の里（ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ含む）	正規	43	44	46	47	44
		嘱託・準	10	8	7	10	9
		パート・日給	19	21	20	19	20
	満日の里計		72	73	73	76	73
	明日葉	正規		9	8	9	10
		嘱託・準		5	4	3	3
		パート・日給		1	2	3	1
	明日葉計			15	14	15	14
	きなせ家	正規	8	7	9	7	9
		嘱託・準	10	13	12	13	11
		パート・日給	1	1	1	1	1
	きなせ家計		19	21	22	21	21
	さくらの里	正規	6	6	6	5	6
		嘱託・準	5	6	6	6	6
		パート・日給	3	3	4	4	4
	さくらの里計		14	15	16	15	16
	あさひの家	正規	5	5	5	5	3
		嘱託・準					2
		パート・日給	1	1	1	1	1
	あさひの家計		6	6	6	6	6
	虹工房	正規	4	5	3	3	3
		嘱託・準	6	7	7	7	7
		パート・日給	1	1	2	1	0
	虹工房計		11	13	12	11	10
	たんぽぽ	正規	6	6	6	6	5
		嘱託・準	6	5	5	5	6
		パート・日給	8	10	10	8	11
	たんぽぽ計		20	21	21	19	22
高齢福祉事業部	菅名の里	正規	58	60	61	63	52
		嘱託・準	15	14	14	12	9
		パート・日給	25	25	26	24	17
	菅名の里計		98	99	101	99	78
	まおろしの郷	正規	20	20	20	19	19
		嘱託・準	3	2	2	3	3
		パート・日給	7	9	10	9	8
	まおろしの郷計		30	31	32	31	30
	幸老吉清水	正規					7
		嘱託・準					3
		パート・日給					5
	幸老吉清水計						15
	五泉中央デイサービスセンター	正規	19	20	20	20	18
		嘱託・準	10	9	8	8	9
		パート・日給	14	14	13	15	15
	五泉中央デイ計		43	43	41	43	42
	五泉中央サポートセンター（基幹・包括出向含む）	正規	18	18	19	17	16
		嘱託・準	1	1	2	2	1
		パート・日給					
	五泉中央サポ計		19	19	21	19	17
	うずらはし	正規	49	52	52	50	45
		嘱託・準	16	13	14	15	15
		パート・日給	9	11	10	13	10
	うずらはし計		74	76	76	78	70
	帛の郷	正規	16	19	17	17	17
		嘱託・準	7	6	7	7	6
		パート・日給	6	6	6	6	6
	帛の郷計		29	31	30	30	29
全体		正規	324	346	347	344	329
		嘱託・準	121	116	115	117	115
		パート・日給	122	136	140	139	134
全体計			567	598	602	600	578

※幸老吉清水は令和5年3月開設であるが、4月1日付在籍数のため令和4年度はカウントせず。

職員有資格者数（延べ人数）

令和5年3月31日現在

所属		社会福祉士	介護福祉士	精神保健福祉士	介護支援専門員	社会福祉主事	保育士	喀痰吸引
法人本部		0	1	0	1	5	0	0
障害福祉事業部	いずみの里（ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ含む）	7	17	1	2	22	9	13
	自立就労センターいずみ	2	4	0	0	6	2	2
	第二いずみの里	8	15	2	2	18	4	7
	満日の里（ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ含む）	10	22	2	3	23	11	7
	明日葉	3	3	0	2	5	2	1
	きなせ家	1	4	0	1	10	3	2
	さくらの里	1	7	1	0	4	1	0
	あさひの家	2	1	1	0	4	1	2
	虹工房	0	0	1	0	1	2	0
	たんぽぽ	2	9	1	1	7	1	2
高齢福祉事業部	菅名の里	7	35	2	10	22	1	32
	まおろしの郷	1	13	0	6	10	1	11
	幸老吉清水	1	7	1	2	5	1	4
	五泉中央デイサービスセンター	7	18	0	5	14	1	8
	五泉中央サポートセンター（基幹・包括出向含む）	9	6	6	9	6	4	2
	うずらはし	5	39	0	12	25	4	33
	帛の郷	2	16	1	7	9	1	15
令和4年度合計		68	217	19	63	196	49	141
令和3年度合計		70	220	21	61	187	44	149

職員研修（外部・内部）参加者延べ人数

所属		合計		令和4年4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		令和5年1月		2月		3月	
		外部	内部	外部	内部	外部	内部	外部	内部	外部	内部	外部	内部	外部	内部	外部	内部	外部	内部	外部	内部	外部	内部	外部	内部	外部	内部
法人本部		2	2	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害福祉事業部	いずみの里（ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ含む）	95	279	1	53	2	0	5	76	14	50	8	0	7	33	10	11	23	46	4	0	0	10	16	0	5	0
	自立就労センターいずみ	7	55	0	0	0	0	1	36	1	4	0	0	0	3	0	0	0	12	0	0	0	0	3	0	2	0
	第二いずみの里	31	116	2	2	2	0	1	0	4	22	3	8	5	0	6	0	3	0	3	0	0	0	0	34	2	50
	満日の里（ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ含む）	36	93	2	0	2	0	7	0	4	4	2	0	4	0	5	0	2	69	1	0	3	0	3	0	1	20
	明日葉	6	86	0	20	1	0	2	10	0	18	0	8	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	20
	きなせ家	20	132	0	0	0	0	2	0	0	34	5	33	6	20	5	0	0	14	0	13	0	0	2	18	0	0
	さくらの里	15	106	0	0	0	0	0	0	0	48	3	0	4	14	5	0	0	14	1	16	0	0	1	14	1	0
	あさひの家	20	7	0	0	0	0	2	0	3	0	0	0	3	0	4	1	2	0	0	3	2	3	2	0	2	0
	虹工房	11	37	0	0	0	10	1	0	0	0	1	0	2	0	0	10	1	0	3	8	0	9	0	0	3	0
	たんぽぽ	17	8	0	0	0	0	1	2	2	0	0	0	4	2	1	0	3	1	4	3	0	0	1	0	1	0
高齢福祉事業部	菅名の里	185	403	7	42	10	61	10	85	31	21	5	20	0	0	13	0	36	18	19	20	22	34	23	29	9	73
	まおろしの郷	45	242	2	25	3	11	3	34	8	29	2	15	4	0	4	22	4	49	5	0	5	0	1	25	4	32
	幸老吉清水	1	29																					1	14	0	15
	五泉中央デイサービスセンター	16	392	0	2	1	0	1	62	5	0	2	1	0	25	0	84	0	110	0	0	2	28	5	36	0	44
	五泉中央サポートセンター	69	186	6	11	3	8	6	30	7	16	2	8	0	12	4	12	12	30	11	12	3	20	9	15	6	12
	うずらはし	171	866	21	12	19	1	44	86	5	197	8	133	8	78	10	5	8	142	8	31	19	74	15	96	6	11
	帛の郷	28	196	1	21	0	13	3	16	6	11	1	29	6	13	2	0	2	11	1	19	0	10	4	4	2	49
合計		775	3,235	42	188	43	104	89	437	90	456	43	255	55	200	71	145	96	516	60	125	56	188	86	295	44	326